Ⅲ　教育内容

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	哲学	科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位(時間)	１（１５）	開講時期	１年前期
担当教員：　非常勤講師					
≪科目目標≫ 物事の根本原理についての価値・見方・考え方を理解し、生命の尊厳、人間尊重、倫理観に基づいた行動や思考ができる基礎を養う					
≪成績評価の方法≫ レポート及び筆記試験					
≪使用教材（教科書）及び参考図書≫ はじめて出会う生命倫理　有斐閣					
≪授業外における学習方法≫ 自己学習					
≪履修に当たっての留意点≫					

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	生命倫理の歴史と日本への導入	講義
2	2	生殖補助技術、出生前診断のもたらす問い	講義
3	2	診療と研究参加のインフォームドコンセント	講義
4	2	患者主体の医療、介護される者の自己決定	講義
5	2	ホスピス、緩和ケア、安楽死、尊厳死をめぐる倫理問題	講義
6	2	再生医療をめぐる倫理問題	講義
7	2	エンハンスメントと新優生学、脳神経倫理	講義
8	1	医療資源の配分と倫理	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	論理学	科目区分	基礎分野	授業の方法	講義・演習
対象学年	３学年	単位(時間)	１（１５）	開講時期	３年前期

担当教員：　非常勤講師

≪科目目標≫

論理的道筋に沿った思考の形成及び構造を理解し、論理的思考法を身につける

≪成績評価の方法≫

レポート

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

随時参考文献提示

≪授業外における学習方法≫

自己学習

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	論理的思考・資料の批判的読解	講義
2	2	数量表現の扱い	講義
3	2	広告の表現	講義
4	2	相関と因果	講義
5	2	誇大な表現	講義
6	2	論説文の読みとり	講義
7	2	論理的表現の作成	講義
8	1	論理的表現の読解	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	情報科学	科目区分	基礎分野	授業の方法	講義・演習
対象学年	１学年	単位(時間)	１（３０）	開講時期	１年前期

担当教員：非常勤講師

≪科目目標≫

情報と情報処理の基本的な考え方や方法を理解し、看護実践や看護研究に生かすための情報収集と整理・活用方法を習得する

≪成績評価の方法≫

課題提出及び筆記試験、実技テスト

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

随時参考文献提示

≪授業外における学習方法≫

自己学習

≪履修に当たっての留意点≫

視聴覚室で授業を行う。各自 USB（2GB 程度）を持参すること。プロジェクターを準備する。

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	基本操作　キーボードとマウス、日本語入力、強制終了	講義・演習
2	2	レイアウト機能とコンピューターウィルス	講義・演習
3	2	SNS 講習、情報リテラシーとコンピューターリテラシー	講義・演習
4	2	タイトルロゴとテキストボックス	講義・演習
5	2	図形描写と段組み、ヘッダーとフッダー	講義・演習
6	2	パワーポイントとアニメーション	講義・演習
7	2	パワーポイントのテクニックと文献検索	講義・演習
8	2	エクセルグラフ	講義・演習
9	2	相対、参照、絶対参照	講義・演習
10	2	基本的な関数と電子カルテ	講義・演習
11	2	If と Lookup	講義・演習
12	2	串刺し算、パソコンの基本的構造	講義・演習
13	2	データベース	講義・演習
14	2	統計の基本	講義・演習
15	2	まとめと実技テスト	講義・演習

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	教育学	科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位(時間)	１（３０）	開講時期	１年前後期

担当教員：非常勤講師

≪科目目標≫

目的：教育学は「人間とは何か」「人間はどう生きるべきか」という問いから出発し、人間社会に固有な営みとしての教育のあり方を探究してきた。本授業では、教育学の基本的な考え方を学びつつ、教育に関わる様々な事象を主体的かつ批判的に考える力を身につけることを目指す。

目標：①成長・発達への教育の影響および人間にとっての教育の意義を理解する
②看護における教育的役割を実践するための基礎的知識を理解する
③専門職業人として主体的に生涯学習を行う必要性を理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験・授業への参加状況

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

看護のための教育学　医学書院

≪授業外における学習方法≫　自己学習

≪履修に当たっての留意点≫

授業は主に講義形式で進めるが、グループワーク等も行う予定です。また、教科書の内容にかかわらず、教育学の理解に必要と思われるトピックも適宜扱っていきます。「授業への参加状況」の評価については、毎回の授業後に、ﾘｱｸｼｮﾝﾍﾟｰﾊﾟｰの提出を課すことを予定しています。

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	なぜ教育学を学ぶのか？－人間理解と教育	講義
2	2	看護師としての学習とキャリア開発	講義
3	2	発達と教育１	講義
4	2	発達と教育２	講義
5	2	教育の歴史と制度１	講義
6	2	教育の歴史と制度２	講義
7	2	特別なニーズをもつ子どもと向き合う１	講義
8	2	特別なニーズをもつ子どもと向き合う２	講義
9	2	学校は監獄か？－近代学校批判とエンパワーメントの教育	講義
10	2	患者指導に向けて－指導の基本と工夫	講義
11	2	集団指導１	講義
12	2	集団指導２	講義
13	2	教育とケア１	講義
14	2	教育とケア２	講義
15	2	授業まとめ	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	国文学	科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位(時間)	１（３０）	開講時期	１年前期

担当教員：　非常勤講師

≪科目目標≫

文学作品の表現の考察を通して、時代の変化や日本人の生き方を理解するとともに、看護学生、社会人に必要な言葉の知識を増やし、文章作成能力の向上を目的とする。

≪成績評価の方法≫

レポート及び筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

随時参考文献提示

≪授業外における学習方法≫

自己学習

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	グリム童話「灰かぶり」	講義
2	2	芥川龍之介の妻と手紙①	講義
3	2	芥川龍之介の妻と手紙②	講義
4	2	ハンセン病の歴史と文学	講義
5	2	北条民雄「いのちの初夜」①	講義
6	2	北条民雄「いのちの初夜」②	講義
7	2	結核の文学史①	講義
8	2	結核の文学史②	講義
9	2	結核の文学史③	講義
10	2	「伝記調べ」発表①	講義
11	2	「伝記調べ」発表②	講義
12	2	「伝記調べ」発表③	講義
13	2	文章の書き方①	講義
14	2	文章の書き方②	講義
15	2	文章の書き方③	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	社会学	科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	２学年	単位(時間)	１（３０）	開講時期	２年前期

担当教員：非常勤講師

≪科目目標≫

社会的存在「である人間を理解するとともに、地域社会での生活システムの中で生活している人間を理解する

≪成績評価の方法≫

レポート

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

随時参考文献

≪授業外における学習方法≫

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	Ⅰ．明治民法の家族法　明治民法の家族制度と女性　明治民法	講義
2	2	Ⅰ．明治民法の家族法　明治民法の家制度と女性　法律適用の男女差	講義
3	2	Ⅰ．明治民法の家族法　新しい女性の登場と家族法	講義
4	2	Ⅰ．明治民法の家族法　戦後改革と家族法	講義
5	2	Ⅱ．現代社会における家族　家族とは、家族の変容、前近代家族	講義
6	2	Ⅱ．現代社会における家族　家族の変容、近代家族、　現代家族	講義
7	2	Ⅲ．結婚　結婚とは、変化する結婚	講義
8	2	Ⅲ．結婚　法律婚と非法律婚、夫婦別性選択制	講義
9	2	Ⅲ．結婚　夫婦同氏と戸籍　　Ⅳ.離婚　実離婚の実態	講義
10	2	Ⅳ.離婚　離婚の法制度	講義
11	2	Ⅳ.離婚　判例変更	講義
12	2	プレゼンテーション	講義
13	2	プレゼンテーション	講義
14	2	プレゼンテーション	講義
15	2	プレゼンテーション	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	生物と環境	科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	２学年	単位(時間)	１（３０）	開講時期	２年前期

担当教員：非常勤講師

≪科目目標≫

生物としての人間が環境を離れては存在しえないことを理解し、環境保全への努力が心身のトータルな健康的生活へ至る重要項であることを学ぶ

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

随時参考文献提示

≪授業外における学習方法≫

自己学習

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	生物多様性の意味と生態系の多様性	講義
2	2	種の多様性と生物の進化	講義
3	2	遺伝子の多様性の重要性	講義
4	2	生物多様性と人間社会：生態系サービス、生物多様性条約、SDGsについて	講義
5	2	世界の動物地理：世界の動物分布の成り立ちと各動物地理区の特徴	講義
6	2	日本の動物地理：旧北区の日本列島と東洋区の琉球列島の比較	講義
7	2	ユニークで豊かなあいち/東海地方の生物相	講義
8	2	在来の自然を変える外来生物	講義
9	2	日本の野外の危険生物や有毒生物の生態	講義
10	2	生態系のしくみとはたらき	講義
11	2	近年の生態系の撹乱による環境破壊：地球温暖化、プラスチック汚染	講義
12	2	世界と日本の植生の水平分布と垂直分布	講義
13	2	植生遷移と近年注目されている中規模撹乱の重要性	講義
14	2	生物種の種間関係：生体的地位の概念、種間競争、棲み分け、強制、寄生、ベイツ型擬態、ミューラ型擬態	講義
15	2	種内における個体間関係：なわばり制、リーダーシップ性、家族関係 etc	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	人間関係論	科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位(時間)	１（３０）	開講時期	１年前期
担当教員：　非常勤講師					

≪科目目標≫

人間関係に関する基礎理論及び良好な人間関係を築くためのスキルを、講義・演習を通して学ぶ

≪成績評価の方法≫

レポート

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

随時参考文献提示

≪授業外における学習方法≫

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	オリエンテーション　フォースド・チョイス	講義・演習
2	2	ポジティブ思考と自尊感情	講義・演習
3	2	これまでの出来事を意味づける	講義・演習
4	2	自己効力感	講義・演習
5	2	効果的なコミュニケーション	講義・演習
6	2	自己概念	講義・演習
7	2	積極的傾聴「きく」	講義・演習
8	2	アサーション	講義・演習
9	2	コンテントとプロセス「おもしろ村」	講義・演習
10	2	リーダーシップ「看護師という人生で大切なもの」	講義・演習
11	2	グループプロセスの諸要素「タワービルディング」	講義・演習
12	2	「人の尊厳を大切にするとは」	講義・演習
13	2	「あなたならどうする？」	講義・演習
14	2	コーチング	講義・演習
15	2	ロールプレイ	講義・演習

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	心理学	科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位（時間）	１（３０）	開講時期	１年後期

担当教員：非常勤講師

≪科目目標≫

人間の心理を理解するために必要な基礎的な事項について学ぶ

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

改訂 現代心理学の基礎と応用 －人間理解と対人援助－　樹村房

≪授業外における学習方法≫

自己学習

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	心理学とは①(動機は何か)	講義
2	2	心理学とは②(看護の心)	講義
3	2	人間理解とは	講義
4	2	感覚、知覚の心理	講義
5	2	記憶の心理	講義
6	2	感情・動機の心理、知能の心理	講義
7	2	性格、知能の心理①(理論)	講義
8	2	性格、知能の心理②（心理検査、性格検査)	講義
9	2	現代社会とストレス、感情、情緒など	講義
10	2	現代社会とストレス：日常的ストレス、中間確認テスト	講義
11	2	現代社会とストレス：ストレス反応、ストレスチェック	講義
12	2	発達の心理	講義
13	2	社会の心理	講義
14	2	カウンセリング	講義
15	2	まとめ	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	スポーツ科学Ⅰ	科目区分	基礎分野	授業の方法	実技
対象学年	１学年	単位(時間)	１（１５）	開講時期	１年前期

担当教員：非常勤講師

≪科目目標≫

スポーツを通して、心身のバランスをとり、自己の健康・体力を保持増進する

≪成績評価の方法≫

実技試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

随時参考文献提示

≪授業外における学習方法≫

自己学習

≪履修に当たっての留意点≫

運動ができる服装：トレーニングウエア、室内運動靴

髪は縛るかまとめること　体育館で授業を行う

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	バレーボール	実技
2	2	卓球・バレーボール	実技
3	2	卓球・バレーボール	実技
4	2	卓球・バレーボール	実技
5	2	卓球・バレーボール	実技
6	2	卓球・ドッチボール	実技
7	2	卓球・ドッチボール	実技
8	1	体力測定	実技

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	スポーツ科学Ⅱ	科目区分	基礎分野	授業の方法	講義・演習
対象学年	１学年	単位(時間)	１（１５）	開講時期	１年前期

担当教員：非常勤講師

≪科目目標≫

身体運動と健康のかかわりを科学的に理解し、生活に対応する運動のあり方を身につける。「体力について」「体力を測定評価」するという２点に着目して授業をすすめる。健康・体力とは何かについて理解することを目的とする。そして、今の自分の体力を測定するとともに自他と比較してどうなのか正しく比較・検討できること（測定→集計→評価）を目的とする。

≪成績評価の方法≫

筆記試験の点数 80%と授業内の活動点（レポート）20%で評価する。

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

教科書は指定せず、授業内で配布するプリントで授業をすすめる。

参考書（購入義務なし）

① スポーツ測定評価学―からだの形と働きを測る　文化書房博文社

② 新体力テスト―有意義な活用のために　ぎょうせい

≪授業外における学習方法≫

授業内で説明する。

≪履修に当たっての留意点≫

授業内での演習や作業があるのでできるだけ全出席を目指してください。

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	1	体力と健康の概念～健康とは何か？体力とは何か？～	講義
2	2	新体力テストを実施	演習
3	2	新体力テストの結果分析	講義
4	2	持久系運動能力の評価①（vo2max、酸素摂取量、RMR、基礎代謝量）	講義
5	2	持久系運動能力の評価②（Met、Ex）	講義
6	2	スポーツと突然死	演習
7	2	測定実習（歩行・走行パフォーマンスの計測）	演習
8	2	まとめ、復習	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	英語	科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位(時間)	１（３０）	開講時期	１年後期

担当教員：非常勤講師

≪科目目標≫

日常生活及び看護の場面に必要な英語の会話力を身につける

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

ホスピタルイングリッシュ　Vital　Signs〈改訂版〉　南雲堂

≪授業外における学習方法≫

自己学習

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	自己紹介、ネームカードの作成、授業内容と方法についての説明	講義
2	2	Unit1 Listening, Translation,Reading practice,Ⅱ check Your Understnading	講義
3	2	Unit1 QuizNo.1　Ⅲ Look At This Role play	講義
4	2	Unit１QuizNo.2　Ⅴ substitution. Ⅵ Do you know? Unit２Listening Translation	講義
5	2	Unit2 QuizNo.3 Reading practice, Role play, ⅢLook At This	講義
6	2	Unit2 QuizNo.4　ⅣControlled Practice Unit3　Listening	講義
7	2	Unit3　QuizNo.5 Translation, Reading practice, ⅢLook At this	講義
8	2	Unit3 QuizNo.6　Role play, Ⅳ Controlled Practice	講義
9	2	Unit4 Listening,Translation, Reading practice, ⅢLook At this	講義
10	2	Unit4 Role play,ⅣControlled Practicel. ⅤSubstitution	講義
11	2	Unit5 QuizNo7,Listening, Translation, ⅢLook At This	講義
12	2	Unit5 QuizNo8, Role play, Ⅵ Do you know? Ⅶ Time Out	講義
13	2	Unit6 QuizNo9, Listening, Translation, Reading practice,Ⅲ Look At This	講義
14	2	Unit6 QuizNo10 Role play,ⅣControlled Practice	講義
15	2	Unit7 ⅢLook At This, Unit1～7 のまとめと期末テストについて	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	ポルトガル語	科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	２学年	単位(時間)	１（３０）	開講時期	２年後期

担当教員：　非常勤講師

≪科目目標≫

日常生活に使われる基本的会話と発音を身につける

異文化との交流をとおして国際化に対応する基本的な能力を養う

≪成績評価の方法≫

筆記試験、小テスト

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

『Descobrindo o Brasil』ブラジル・ポルトガル語入門　同学社

必要に応じて、補助プリントを配布

≪授業外における学習方法≫

各回の授業内容をこまめに復習すること。また、宿題（練習問題）をとくことで学習内容が理解できているか確認しておくこと。

≪履修に当たっての留意点≫

初めて学習する言語であるため、自宅での学習が必要です。

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	ブラジルの文化と生活	講義
2	2	ポルトガル語の文字と発音	講義
3	2	ポルトガル語の名詞の特徴、あいさつ	講義
4	2	Ser 動詞の活用と用法	講義
5	2	形容詞とその特徴	講義
6	2	自己紹介、自分以外の人を紹介する練習、受付での会話	講義
7	2	-ar、-er、-ir 動詞(規則活用変化動詞、現在形)の活用の仕方と用い方と前置詞	講義
8	2	命令・禁止の表現	講義
9	2	Estar 動詞の活用とその用い方　estar com～で肉体的・精神的な状態を表す	講義
10	2	体の部位や症状の表現	講義
11	2	○が欲しい/○がしたい	講義
12	2	数詞・日付の表現	講義
13	2	数詞・時間の表現、TER 動詞（所有・年齢・義務を表す）①	講義
14	2	TER 動詞（所有・年齢・義務を表す）② ベッドサイドにおける簡単な会話	講義
15	2	まとめ	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	文化人類学	科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	３学年	単位(時間)	１（１５）	開講時期	３年後期

担当教員：　非常勤講師

≪科目目標≫

異文化における人々の生活習慣、健康・病気についての考え方を学ぶ

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

随時参考文献提示

≪授業外における学習方法≫

事前に教材等を予習しておく。

≪履修に当たっての留意点≫

授業時には毎回、小レポートを実施します。感想・意見・疑問など何でもかまわないので、受講者の積極的な参加を期待します。

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	人間と文化	講義
2	2	人生とコミュニケーションの文化	講義
3	2	文化・宗教と消費社会・世界観	講義
4	2	命と文化	講義
5	2	健康と文化	講義
6	2	生命にかかわる地域文化	講義
7	2	多文化社会と共生	講義
8	1	まとめ	講義